

**【数学】**

高校数学で修得すべき基本的な内容を理解しているかを見ることを主なねらいとしている。各分野の重要なテーマについては、思考力や応用力を必要とする問題も加えることによって、学習の到達度も評価できる構成としている。

具体的には、次のような能力を見ることに重点を置いて問題を作成している。

**\*数と式**

代表的な式の値や方程式・不等式の解を求めるという、数学を学ぶうえでの土台となる基本的な計算能力。

**\*二次関数とその応用**

二次関数のグラフの特性を理解し、さまざまな条件の下で関数の最大値・最小値および方程式・不等式の解について深く考察することができる能力。

**\*データの分析**

データの特性を示す中央値・平均値・分散の定義を理解し、それらの値を正確に求めることができる能力。

**\*図形の計量と図形の性質**

正弦定理・余弦定理を用いた基本的な計量に加え、やや複雑な図形に隠れている特別な性質を見抜き、定理を的確に用いることができる能力。

**\*場合の数と確率**

単純な基本形を理解し、それらを組み合わせて与えられた状況に対応することができる能力。

**\*人間の活動と数学**

整数に関する理論は高度であるが、誘導に従って論理的に考察を進めることができる能力。

出題範囲は数Ⅰ・Aであるが、数学において重要な位置を占める関数、図形、確率については発展的な内容も含めている。これにより、特定の分野に限定されない論理的思考力を有しているかどうかを見ることにも配慮している。